

JET からの手紙

ZEN のふるさとで
日本の心に触れて

福井県総務部知事公室広報広聴課 国際交流員

Pierre-Hubert LEROUX (ピエール ウベール・レルー)

カナダから憧れの南国…ではなく、
北陸へ

「配属先は福井県」と日本から通知が来た時に、「福井」を「福岡」と勘違いして、「やった！これからはあったかいところで幸せに暮らしてみせるぞ」と思ったのを覚えています。カナダ・モントリオール出身の私にとってそれは救いのように感じました。わくわくしながらその場でスマホを取り出して「Fukui」と検索してみると、「雪深い」など痛いほど親しみのある言葉が並ぶのを見て、気持ちの盛り上がりはいったん落ち着きました。

過去に日本に留学したことはあったものの、「福」という字がつく都道府県にはまだ行ったことがなかったので、仕方ないと思いながら画面全体を飾る広大かつ神秘的な田園風景の写真を眺めていく中で、福井の「何か」に惹かれ、「気になる」「行ってみたい！」という強い思いが芽生えたのでした。

公務員ユーチューバー？

季節が春から夏へと移り、雪国にしてはやや暑い2019年8月の日に着任してみ

ると、配属先が福井県で大当たりだったことが明らかになりました。なぜかという、楽しみにしていた国際交流員（CIR）の仕事、つまり翻訳や通訳、文化講座の企画・実施などに加え、所属先の



福井県マスコットキャラクター「はぴりゅう」と県政番組のロケ広報広聴課の一員として、にて

県の公式海外向け SNS「Experience Fukui」も担当させてもらうことになったからです。



越前朝倉曲水の宴に参加して平安貴族に変身！

右も左も分からないまま、やってきたばかりの土地を PR していくとなると、まずは職場の同僚や先輩、地元の魅力をよく知っている事業者さんなどに福井県の素晴らしいモノ・コト・人を紹介してもらうことが必要でした。JET プログラムに応募した動機でもある、地元住民との交流をさせてもらう絶好のチャンスをもらったわけです。それから5年間、未熟ながらも、福井の皆さんの優しさに頼りながら、県内各地を飛び回って、企画から取材、記事作成や映像制作までを自ら行ってきました。

禅寺でお坊さんの法話を聞いて坐禅を組んだり、職人さんの指導のもとで打刃物や和紙など日本の伝統工芸を体験したり、漁村に泊まって漁師さんたちと一緒に海に出たりしてみて、自分が感じたことや案内してくれたプロフェッショナルの言葉などをレポートし、海外に向けて発信する。それが私の仕事です。楽しそうでしょう？

「兼務」という新しいチャレンジ

2021年には、SNS で発信しているコンテンツの多く

を占める観光情報が回りやすくなるようにと、観光誘客課との兼務を開始しました。海外のメディアや旅行会社が視察などで来福する際、その企画・通訳・アテンドの業務も担当させてもらうことになりました。また、県内外問わず、PR イベントや式典、表敬訪問などといった重要な場面での司会・通訳も任され、さまざまな形で福井県の魅力を発信することに大きなやりがいを感じてきました。

ふくいブランド「ZEN, Alive. Fukui」 がいよいよ海外進出

新型コロナウイルス感染症が収束し、水際対策が緩和されると、インバウンドの復活のため、今度は海外出張にも行かせてもらうことになりました。

2024年3月の北陸新幹線金沢～敦賀開業に向けて、大本山永平寺で体験できるZENやモノづくり大国・福井で楽しめる7つの伝統工芸を世界中の方々に知ってもらおうと、ヨーロッパやアメリカに渡り、博覧会に出展



フランスの旅行会社に福井県をPR



海外を訪れ、現地の人に福井県の良さを語りつくします

したり、現地の旅行会社を回ったりして、福井県の良さを語りました。



第31回北前船寄港地フォーラム in パリに出展

結びに代えて

こうして福井県庁のさまざまな部署や関係者の方と厚い信頼関係を築けたことをとても誇りに思っています。地元の方から「ピエールの記事を見て来てくれたお客さんがいたよ!」という声をいただいた際には特に喜びを感じます。お仕事でこんなにたくさんのご縁に恵まれるとは、正直言って思ってもみませんでした。

CIRに着任してから5年が経つ2024年夏に県庁を卒業しますが、これからも引き続き、幸福度日本一・福井県で学んだフィロソフィー「人を大切に」をもって、JETプログラムで積んできた経験や身に付けたスキルを活かしながら次のチャレンジに挑んでみたいと思います。



海外向けSNS「Experience Fukui」
(左: Instagram、右: Facebook)

プロフィール



Pierre-Hubert LEROUX

(ピエール ウェーベル・レルー)

カナダ・モントリオール市出身。モントリオール大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了後、高校時代からの夢だった日本での就職を希望してJETプログラムに参加。趣味は読書やラジオ聴取。